

□議員名：大井淳一郎

1 地域通貨事業について

論点	現在までの実施状況と課題は何か。
回答	これまで 10 名に対して計 3 万 1,500 円の地域通貨を発行し、このうち 1 万 3,000 円分が利用されている。本来的な地域通貨を展開させていくためには一定の流通量の確保が不可欠だが、発行の対象者が限られている今の仕組みの中では非常に難しい。

論点	地域通貨事業を今後どのように位置づけていくのか。
回答	全国的には、地域コミュニティの維持や省エネ推進のために地域通貨を活用した例がある。そうした例を参考にしながら、地域課題の解決や地域資源の活用などを主なテーマとした上で、付加価値的に地域通貨制度を活用することを考えている。

2 まちの魅力発信について

論点	まちの魅力発信についてどのように取り組んでいくのか。
回答	情報の一元化を行うとともに、目的やターゲットを明確にしながらホームページやフェイスブックを活用して情報発信を進めたい。また、市内が一体となって本市の魅力を対外的かつ効果的にアピールできる体制づくりについて検討したい。

論点	組織的なものも含めて情報を一元化する仕組みを具体的に考えているのか。
回答	シティセールス課といった組織改編の予定はない。情報の一元化については、イントラネットの中に行事を入力することで、どの課にどんな行事があるのか分かるようにしている。これを広報とつなげて市民に発信したいと考えている。

論点	魅力発信の手法としてフィルムコミッションを設立し、映画などの撮影場所を誘致して地域活性化や観光振興を図るべきではないか。
回答	広くシティセールスを考える中で、極めて有効な手法と捉えている。どのような形態が本市に適しているのか、どのように運営するのが

	より効果が高いのか考えていきたい。また、近隣のフィルムコミッションに加入するなど広域的な取組も一つの手法である。
--	--

3 職員採用について

論点	職員採用活動にあたってどのように取り組んでいるのか。
回答	市主催の職員採用説明会を開催し、参加者の質問に答える形で若手職員の生の声を直接聞いてもらう取組を始めた。参加者からは市役所の仕事が理解できたと好評である。県や大学が主催する就職説明会にも積極的に参加し、市のPRを行っている。

論点	学力ではなく、人物重視の採用にシフトしたことの効果は。
回答	公務員試験対策の必要がないため、より多くの方に受験の機会が提供できたと考えている。1次試験から面接を取り入れることで受験生の人となりを確認できる機会が増え、多様な人材の確保につながるものと考えている。

論点	土木など技術的な職員を確保するために、採用時期を少し早めるなど工夫してはどうか。
回答	学生の採用時期についての縛りをクリアする中で、受験生が集まりやすい、受験しやすい日程や募集方法を考えていきたい。